令和２年度社会福祉法人常陽社会福祉事業団事業報告書

令和３年３月３１日現在

１　事業の概要

老人福祉法の理念に基づき、急速に進む高齢社会が健全な環境のもとで施設を利用できるように、処遇改善や職員の資質の向上に努めながら、次の事業を行った。

（１）常陽社会福祉事業団の事業目的

常陽社会福祉事業団は、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の事業を行った。

ア　第一種社会福祉事業

（ア）養護老人ホーム清風園の経営

（イ）養護老人ホーム望峰園の経営

（ウ）特別養護老人ホーム白寿園の経営

イ　第二種社会福祉事業

（ア）西岳デイサービスセンターの経営

（イ）庄内デイサービスセンターの経営

（ウ）横市デイサービスセンターの経営

（エ）老人短期入所事業 白寿園の経営

（オ）老人短期入所事業 庄内の里の経営

（カ）訪問介護事業 望峰の経営

（キ）生計困難者に対する相談支援事業（みやざき安心セーフティネット事業）

（ク）小規模多機能型居宅介護創生館の経営

ウ　公益事業

（ア）居宅介護支援事業所 ケアプランサービスゆう

（イ）特定施設入居者生活介護事業所 清風園

（ウ）都城市志和池・庄内・西岳地区地域包括支援センター

（２）役員等に関すること

現役員・評議員

役　職	定数	氏　名
理　事	６名	横山 成保（理事長） 立山 静夫、野口 和行、渕上 澄雄、根井 勝泰、馬渡 久続
監　事	２名	田中 瑞生、大河原 弘子
評議員	８名	原田 誠一郎、瓦田 節子、大橋 正敏、坂元 和雄、徳留 次男 中村 敏郎、馬籠 英男、本村 順吉

（３）理事会・評議員会の開催状況に関すること

令和１年度理事会及び評議員会において、次の事項について決議した。

【理事会】

開催日	議案	結果
令和２年第２回 令和２年６月９日（火） 理事６名、監事２名 同意書：理事６名 確認書：監事２名	決議の省略 報② 感染防止対策委員会設置要綱の制定について ⑨ 令和１年度事業報告について ⑩ 令和１年度理事長の職務執行状況報告について ⑪令和１年度事業団会計決算報告について（監査報告） ⑫事業団評議員会の招集等について	 承認 可決 可決 可決 可決
令和２年第３回 令和２年 11 月 10 日（火） 理事６名、監事２名	報③ 職員就業規則の一部改正について 報④ 慶弔規程の一部改正について 報⑤ 法人設立記念事業実行委員会設置要綱の一部改正 報⑥ 令和２年度事業団理事長の職務執行状況の報告 ⑬ 職員就業規則の一部改正について ⑭ 給与規程の一部改正について ⑮ 令和２年度事業団会計補正予算（第１号）について ⑯ 事業団評議員会の招集等について	承認 承認 承認 承認 可決 可決 可決 可決
令和３年第１回 令和３年３月９日（火） 理事５名、監事２名	① 令和２年度事業団会計補正予算（第２号）について ② 職員就業規則の一部改正について ③ 組織規程の一部改正について ④ 理事長の権限の委任に関する規程の一部改正について ⑤ 給与規程の一部改正について ⑥ 公印規程の一部改正について ⑦ 経理規程の一部改正について ⑧ 令和３年度事業団経営方針及び事業計画について ⑨ 令和３年度事業団会計予算について ⑩ 役員等損害賠償責任保険契約の締結について ⑪ 事業団評議員会の招集等について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決

【評議員会】

令和１年第２回 令和１年６月 20 日（木） 評議員８名 同意書：評議員８名	決議の省略 報① 感染防止対策委員会設置要綱の制定について ④ 令和１年度事業報告について ⑤ 令和１年度事業団会計決算報告について（監査報告）	 可決 可決 可決

令和２年第３回 令和２年 11 月 19 日（木） 評議員８名 同意書：評議員８名	決議の省略 報② 職員就業規則の一部改正について 報③ 慶弔規程の一部改正について 報④ 法人設立記念事業実行委員会設置要綱の一部改正 報⑤ 職員就業規則の一部改正について 報⑥ 給与規程の一部改正について ⑥ 令和２年度事業団会計補正予算（第１号）について	 承認 承認 承認 承認 承認 可決
令和３年第１回 令和３年３月 18 日（木） 評議員６名	決議の省略 ① 令和２年度事業団会計補正予算（第２号）について ② 令和３年度事業団経営方針及び事業計画について ③ 令和３年度事業団会計予算について	 可決 可決 可決

（４）内部監事監査に関すること

令和２年５月２６日（火）に当法人の監事による令和１年度事業報告及び決算諸表の監査を実施した。

（５）職員配置状況（令和３年３月３１日現在）　（単位：人）

雇用区分	本部	清風園	望峰園	白寿園			デイサービス			包括	合計	割合　％（前年度）
				白寿園	ゆう	創生館	西岳	庄内	横市			
第１号職員	1	18	9	28	5	4	1	3	2	4	75	37.7%（34.9%）
第２号職員	1	4	4	23	1	5	2	1	0	2	43	21.6%（21.0%）
第３号職員	0	4	2	2	1	1	0	1	0	0	11	5.5%（5.6%）
第４号職員	1	3	12	9	0	0	3	2	4	2	36	18.1%（20.5%）
第５号職員	0	12	3	9	0	1	1	2	0	0	28	14.1%（14.4%）
第６号職員	0	0	1	2	0	0	0	1	2	0	6	3.0%（3.6%）
合計	3	41	31	73	7	11	7	10	8	8	199	100%
				86								

２　本部事務局の実施状況

事務局は業務が円滑に運営できるように次のことを行った。

（１）事業団の諸規程を現状に即したものに改正した。

＜改正、制定及び廃止した規程、規則及び要綱＞

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団職員就業規則」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団組織規程」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団理事長の権限の委任に関する規程」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団給与規程」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団公印規程」の改正
「社会福祉法人常陽社会福祉事業団慶弔規程」の改正
「社会福祉法人常陽社会福祉事業団法人設立記念事業実行委員会設置要綱」の改正
「社会福祉法人常陽社会福祉事業団感染防止対策委員会設置要綱」の制定

（２）職員の処遇改善に努め事業団運営と管理が円滑にできるよう努めた。

（３）事業団の計画的かつ効率的な執行を図るため、事業団運営の最高方針及び重要施策の審議並びに各事業所間相互の最終的な総合調整を行うために毎月経営会議を行った。

（４）経営会議の円滑かつ適正な運営を図るため、事前に調査又は検討を行い経営会議に付議すべき事案を定めるとともに、各事業所相互の意思疎通を図るための意見交換及び情報交換を行うため毎月課長会議を行った。

（５）福祉関係団体等が実施する研修会及び他の施設等が実施する研修に積極的に職員を参加させるとともに施設においても自主研修を実施した。

（６）入社式を行った。4/1

（７）職員の定期人事異動を行った。4/1

（８）職員の定期昇給を行った。4/1

（９）令和 2 年度第 1 回新任者研修を行った。4/1

（10）社会福祉法人定款変更認可申請書を都城市へ提出した。4/3

（11）庄内の里増築・改装工事契約を大淀開発（株）と締結した。4/3

（12）新型コロナウィルス感染防止のため庄内の里増築・改装工事を延期した。

（13）職員定期異動に伴う変更届を宮崎県へ提出した。4/7

（14）新規採用辞令交付を行った。4/13

（15）令和 2 年度介護職員処遇改善加算及び介護職員等特定処遇改善加算計画書を宮崎県及び都城市へ提出した。4/15

（16）社会福祉法人登記申請を法務局へ行った。4/23

（17）第 1 回事業団感染予防対策委員会を開催した。4/24

（18）退職辞令交付（宮田氏）を行った。4/30

（19）飯田税理士顧問による定期訪問。5/1、11/25、2/12

（20）創生館の建物表題登記を法務局へ申請した。5/8

（21）障害者雇用調整金の申告申請を高齢・障害・求職者雇用支援機構へ行った。5/12

（22）飯田税理士顧問による決算書確認。5/20

（23）令和 1 年度事業団会計監事監査を行った。5/26

（24）屋外広告物更新許可申請書を県都城土木事務所へ提出した。5/27

（25）財務諸表等電子開示システムによる「現況報告書」・「決算書」・「社会福祉充実残額算定シート」を届け出た。6/18

（26）福祉医療機構へ「事業報告書」を提出した。6/19

（27）令和 1 年度労働保険料及び令和 2 年度労働保険料概算額の確定。6/19

（28）資産の変更登記を法務局へ申請した。6/30

（29）創生館の固定資産税の非課税申請を都城市資産税課へ提出した。7/1
（30）創生館の不動産取得税非課税申請を県税事務所へ提出した。7/1
（31）新規採用辞令交付を行った。7/1
（32）都城税務署へ公益法人等損益計算書等を提出した。7/2
（33）令和２年度６・１調査を電子申請により提出した。7/2
（34）第３セクターの経営状況調査を都城市へ提出した。7/2
（35）令和２年度職員採用試験周知を開始した。7/22
申込期間（高校生）10/5～10/15、第一次試験（高校生免除）、第二次試験 10/17
選考委員会 10/22、第二次試験合格発表 10/23
（36）令和１年度介護職員処遇改善加算及び介護職員等特定処遇改善加算実績報告書を宮崎県及び都城市へ提出した。7/30
（37）新規採用辞令交付を行った。8/17
（38）望峰園診療所開設許可事項変更届を都城保健所へ届け出た。8/27
（39）ユースエール認定企業基準適合事業主認定申請書を宮崎労働局へ申請した。9/17
（40）新規採用辞令交付を行った。10/1
（41）平成３１年４月１日付条件付採用が正採用となった。10/1
（42）令和２年度第２回新任者研修を行った。10/15
（43）ユースエール認定企業に認定された。10/27
（44）令和２年度職員内部登用試験を行った。11/17　選考委員会 11/26、合格発表 11/27
（45）通所介護のサテライト化について宮崎県長寿介護課へ相談した。11/25
（46）法人設立記念事業実行委員会を開催した。10/5、10/30、11/27、12/18
（47）全職員に対し職員勤務評定を行った。12/1
（48）令和２年度職員全体研修として各事業所の事例発表を事業団ホームページに掲載した。12/7
（49）介護福祉士養成支援事業補助金を申請した。2/2
（50）全職員から自己申告書を提出させ意向等を伺った。2/4
（51）社会福祉充実計画による職員処遇改善事業として一時金を支給した。3/10
（52）育児休業復帰辞令交付を行った。3/19
（53）定年退職辞令を交付した。3/31

３　新型コロナウィルス感染症関連
（１）新型コロナウィルス感染症予防対策について
ア　第１回事業団感染防止対策委員会を開催した。4/24
イ　第２回事業団感染防止対策委員会を開催した。1/7
ウ　第３回事業団感染防止対策委員会を開催した。1/11
エ　第４回事業団感染防止対策委員会を開催した。1/13
オ　第５回事業団感染防止対策委員会を開催した。3/10
カ「特別警戒都道府県・県外旅行事前届出書」を作成し経営会議で配布した。4/28

キ　新型コロナウィルス感染防止について「お盆等の帰郷・帰省注意喚起について」の通知を発出した。7/8

ク　県外の者と会う場合に「感染予防対策事前連絡報告書」の提出を求めるようにした。7/28

ク　新型コロナウィルスクラスター発生時の法人応援体制指針を発出した。8/27

（２）新型コロナウィルス感染症の発生について

1/10（日）職員Ａの陽性判明（営業中止）

1/12（火）利用者１名の陽性判明

1/14（木）事業団ホームページで第１報（職員の感染）及び第２報（利用者の感染）を公表。理事、監事及び評議員へ文書発送

1/15（金）利用者１名の陽性判明。第３報（利用者の感染）を公表

1/28（木）創生館事業再開。第４報（事業再開）を公表

2/１（月）陰性確認後職員Ａ出勤

（３）新型コロナウィルス感染症対策を行う高齢者福祉施設・事業所に対する補助金

ア　新型コロナウィルス感染症対応従事者慰労金　9,901,000 円

令和２年３月４日から６月 30 日の間に 10 日以上勤務した職員に対し支給

198 名×50,000 円/人＝9,900,000 円　11/30 支給

イ　令和２年度新型コロナウィルス感染症緊急包括支援交付金

（ア）感染症対策を徹底した上での介護サービス提供支援事業　10,724,000 円

【加湿空気清浄機、マスク、消毒液等かかりまし経費　10,957,113 円】

（イ）在宅サービス事業所における環境整備への助成事業　1,173,000 円

【多機能加湿装置、プレハブ等掛かりまし経費　1,555,811 円】

ウ　令和２年度宮崎県地域医療介護総合確保基金事業費補助金　5,400,000 円

【オゾンエアクリア eZ-100　５台　5,940,000 円】

エ　介護事業所等へのサービス継続支援事業費補助金　475,000 円

【PCR 自主検査代・ホテル宿泊代　552,300 円】

（４）法人独自の対応

ア　特別慰労金（見舞金）を支給

令和２年４月１日から７月 31 日の間に 10 日以上勤務した職員に対し 8/7 に支給

3,960,000 円（一律 20,000 円/人）支給した。

イ　コロナリフレッシュ休暇（特別休暇）を付与

令和２年９月１日から令和２年 11 月 30 日までに２日間を付与

ウ　陽性となった職員は就業規則に則り特別休暇を付与し、今回に限り濃厚接触者にも特別休暇を付与した。

エ　創生館隣接の白寿園職員との交流が判明し、白寿園職員を様子観察とした期間には各事業所から職員を派遣した。その際、今回に限りコロナ派遣手当を支給した。

令和２年度　養護老人ホーム清風園の概況

養護老人ホーム　　清風園

１　事業概要

入居者がその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように努め、入居者の人格及び意思を尊重し、一人ひとりのニーズに応じた処遇計画を策定し、その計画に基づき自立のために必要な相談および支援を行った。

また、入居者が要介護状態になった場合でも適切な介護サービスを提供し、安心・安全な日常生活を営めるよう努めた。

そして、地域の関係団体等と連携を図り、地域における住民福祉のセンター的役割を果たせるよう施設機能の地域社会貢献に努めた。

（１）生活相談・支援

ア　入居者の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、入居者および家族に対して適切な相談・助言を行うとともに必要な支援を行った。

イ　入居者がお互いに労わり合い、思いやりのある人間関係のもとに、楽しく充実した生活を送れるよう支援した。

ウ「自分で出来る事は自分でする」ことを生活の基本に、入居者の適性に応じたクラブ・行事等への参加を促し、融和を図りながら生き甲斐づくりの活動支援を行った。

（２）健康管理

ア　毎朝、ラジオ体操・棒体操を実施し、レクリェーション・グラウンドゴルフ等を定期的に実施することにより健康の維持増進に努めた。

イ　週１回の内科嘱託医と月１回の精神科医の回診により、疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、定期的に体重・血圧測定を行い、年２回の定期健康診断を実施した。

ウ　新型コロナウイルス感染症発生防止の為、県、市の要請及び生活圏域の感染状況により面会、外出を制限した。

また「高齢者介護施設における感染対策マニュアル」に従い、感染委員、職員研修を適時開催し予防策の周知、情報を共有し感染予防対策の徹底を行った。

（３）入居者の処遇

ア　入居者の身体状況・精神状況・社会環境を把握し、本人や家族のニーズに対応できる処遇計画を策定し、実践・評価・改善を図り自立支援に向けた処遇に努めた。

イ　ケアプランに基づき、必要に応じて、適切かつ円滑な介護サービスが提供できるよう努めた。

ウ　給食は、嗜好調査や給食検討会をもとに、入居者の嗜好と栄養のバランスに配慮した献立を作成するとともに、安全で季節感のある食材の確保を心掛け、より良い食事の提供に努めた。

（４）地域社会との交流

ア　清風園においては一人暮らし高齢者に対して食の自立支援事業（配食サービス）を行い、食を通じて在宅高齢者の生活援助に努めた。

イ　地域福祉のセンター的役割を果たすため、横市地区まちづくり協議会等への参加に努めた。

（５）職員の資質向上

ア　施設内・施設外研修を計画的に実施し、職種別研修会・講習会等へ積極的に参加した。

イ　朝礼・職員会議・事業所会議によって職種間の意思統一と共通理解に努めた。

（６）防災・防犯対策

ア　緊急有事の際には、入居者の安全かつ迅速な避難救出を第一として、防災教育ならびに避難誘導訓練の実施、消防防災設備の点検、消火器の位置確認及び操作訓練を計画的に実施した。

イ　消防署の協力を得て総合防災訓練を実施し、自衛消防隊の円滑な活動ができるように努めた。

（７）施設・環境整備

ア　空調設備の老朽化に伴い、計画的に中央集中管理方式から個別空調方式に更新するため、本年度は一階居室等を施工した。また、ナースコール設備の更新も行った。

イ　居室清掃をはじめ、業者や職員により園庭や樹木の整備と美化を図り、生活しやすい屋内外の環境づくりに努めた。

２　　事業実施状況

毎週火曜日　瀬之口 Dr 診察（内科）　毎月第 4 月曜日　森 Dr 診察（精神科）

４月　１日　書道（毎月）
　　６日　散髪（コロナの状況にて中止あり）
　　８日　買い物日(毎月２回)
　　９日　誕生会（毎月第 2 木曜）
　１４日　事業所会議(毎月第 2 火曜)
　１５日　スカットボール（毎月）
　１６日　喫茶コーナー(毎月第 3 木曜日)
　１７日　機能回復訓練（毎月第 3 金曜日）
　１９日　生花クラブ(毎月)
　２０日　利用者健康診査（6/8 迄）
　２１日　特攻碑墓地清掃(毎月)　課長会議(毎月第３火曜日)
　２２日　安全感染委員会（年 6 回）
　　避難訓練（毎月）
　２３日　職場内研修（年６回）　音楽リハ（毎月）
　２４日　利用者との話し合い（毎月第４金曜日）　事業団感染防止対策委員会
　２６日　カレンダー作製（毎月）
　２７日　栄養管理委員会（毎月）
　２８日　経営者会議（毎月）

５月１１日　リハビリ体操
　１５日　避難訓練（集合訓練）
　１８日　安全感染委員会（コロナ感染対策）
　２２日　機能訓練

６月　１日　第３期清風園・横市デイ空調設備更新工事(7/7 迄)
　　清風園面会・外出制限解除（R2.2.26～）
　１０日　安全感染委員会（コロナ感染対策）
　１２日　避難訓練
　１６日　特攻碑墓地清掃
　２５日　施設内研修（認知症・食中毒蔓延防止）　おやつ作り（クレープ）

７月　３日　七夕飾りつけ
　　９日　（県）チーム力を高める研修　１名参加
　１０日　避難訓練
　１６日　お楽しみ会（夏祭り代替え）
　１８日　西高校ボランテイア（園周囲の除草作業）
　２０日　消防設備点検
　２７日　清風園面会・外出制限（都城にてコロナウィルス発症）
　３０日　中華バイキング食

８月　７日　全職員へ法人独自のコロナ慰労金支給（20,000 円）
　　コロナリフレッシュ休暇付与（３日間）
　１１日　安全感染委員会（コロナ感染対策）
　１２日　ナースコール仮設工事（８/１８日迄）
　１３日　お盆迎え日　　１５日 お盆送り日
　１４日　避難訓練（夜間想定）
　２７日　施設内研修（身体拘束・コロナウィルス感染症）おやつ作り（あんみつ）
　２８日　あそびクラブ

９月　１日　ナースコール工事（９/２８日迄）
　　２日　国勢調査説明会　２名　　介護室シャワー室コンセント設置工事
　１０日　清風園敬老会・誕生会
　１５日　清風園面会・外出制限解除
　２Ｉ日　西高校ボランテイア（園周囲の除草作業）
　２４日　都城中央ロータリークラブより花苗寄贈　　避難訓練

１０月１３日　庭園管理（島田造園）
　１５日　誕生会（屋外バーベキュー）
　２０日　利用者インフルエンザ予防接種施行
　２２日　施設内研修（AED の使用方法・セコム宮崎）
　２７日　職員インフルエンザ予防接種施行
　２８日　多機能加湿器（除菌・空気清浄・消臭機能付き）３台食堂へ
　　加湿空気清浄機（プラズマクラスター適用）５台各部署へ設置
　　面会対応タブレット購入・感染対策衛生用品（マスク・消毒液・
　　グローブ等）買増し購入
　　（宮崎県介護サービス事業所等感染症対策支援事業補助金より）
　３０日　総合防災訓練（消防署員立ち会い）

１１月　２日　利用者健康診査（11/20 迄）
　　５日　郊外レクレーション（大河原狭）
　　７日　西高校ボランテイア（園周囲の除草作業）
　　１７日　防災・防火研修（11/18 迄）一名参加
　　２０日　避難訓練（夜間想定）　安全感染委員会（コロナ感染対策）
　　２６日　施設内研修（精神障がい・事例発表・ガウンテクニック）
　　非常用照明点検（九南・黒岩設計）
　　２９日　南横市町まちづくり協議会　花苗寄贈
１１月３０日　清風園面会・外出制限（12/7 宮崎県緊急事態宣言発令）
　　国より新型コロナウィルス感染症対応従事者慰労金支給
　　（全職員）50,000 円

１２月　３日　餅つき
　　９日　安全感染委員会（コロナ感染対策）
　　１０日　誕生会・忘年会
　　１１日　避難訓練
　　１６日　オゾンエアクリア付簡易陰圧装置購入（医務室）
　　地域医療介護事業補助金より
　　２１日　門松つくり

令和３年
１月１４日　誕生会・バイキング食
　　１５日　避難訓練
　　２２日　安全感染委員会（コロナ感染対策）

２月　５日　安全感染委員会（コロナ感染対策）
　　８日　水道メーター取り換え
　　９日　庭園管理（島田造園）
　　１５日　消防設備点検
　　１７日　避難訓練
　　２５日　施設内研修（リスクマネジメント・ガウンテクニック）

３月　８日　清風園面会・外出制限解除
　　９日　理事会
　　１０日　事業団感染対策防止委員会
　　１２日　避難訓練
　　１７日　安全感染委員会（コロナ感染対策）
　　１８日　評議員会
　　２５日　彼岸法要（攝護寺）

養護老人ホーム清風園

3　職員の状況　　令和3年．3．31現在

施設長	嘱託医	副施設長兼相談員	相談員	主任支援員	介護支援専門員
1(0)	2(2)	1(0)	2(0)	1(0)	1(0)相談員兼務
支援員兼介護員	看護職員	栄養士	調理員	事務職	計
20(6)	3(1)	1(0)	9 (5)	2	43(14)

(　)内は非常勤職員を再掲

4　月別入居者入退居の状況　　令和3年．3．31現在

		入　居			退　居			月末現在		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
令和2年	4月	0	0	0	0	1	1	9	56	65
	5月	0	1	1	0	0	0	9	55	64
	6月	0	0	0	0	0	0	9	56	65
	7月	2	2	4	0	0	0	10	56	66
	8月	0	0	0	0	0	0	11	58	69
	9月	1	0	1	0	1	1	11	58	69
	10月	0	2	2	1	0	1	12	58	70
	11月	0	0	0	0	0	0	11	59	70
	12月	0	1	1	0	1	1	11	59	70
令和3年	1月	0	0	0	0	0	0	11	59	70
	2月	0	0	0	0	0	0	11	59	70
	3月	1	0	1	0	0	0	12	58	70
合計		4	6	10	1	3	4	127	691	818

*退居者の状況

退居後の居所		
	病　院	1
	特別養護老人ホーム	2
	介護付有料老人ホーム	0
	死亡	1
合　計		4

*入所者の状況

入居所所前の		
	家庭	7
	病院(精神)	1
	養護老人ホーム	1
	介護付有料老人ホーム	1
合　計		10

5　年齢階層別調　　令和3年．3．31現在

	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	合計	平均年齢
男　性		3	4	1	2	0	1	1	0	12	76歳4月
女　性		0	5	7	11	13	15	6	1	58	85歳 5月
合　計	0	0	9	8	13	13	16	7	1	70	84歳2月

6　在居期間　　令和3年．3．31現在

期　間	男	女	計
1年未満	4	6	10
1～ 5年	4	24	28
5～10年	3	17	20
10年以上	1	11	12
合　計	12	58	70

7　要介護度の状況　　令和3年．3．31現在

要介護度	男	女	計
自立・要支援	9	31	40
要介護1	0	3	3
要介護2	0	8	8
要介護3	3	8	11
要介護4	0	8	8
要介護5	0	0	0
合　計	12	58	70

8　食の自立支援事業

		利用者数	配食数
令和2年	4月	19	296
	5月	19	358
	6月	19	342
	7月	18	381
	8月	18	337
	9月	19	325
	10月	21	354
	11月	21	350
	12月	20	365
令和3年	1月	20	362
	2月	21	343
	3月	21	427
合計		236	4,240

＊食事の調理が困難な高齢者に対して、事前計画に基いて定期的に居宅に訪問して栄養バランスの取れた食事を提供するとともに、利用者の安否確認を実施する。

養護老人ホーム望峰園の概況

1　事業概要

入居者の自主性を尊重して生きがいを持ち安心して生活できるように、処遇の充実及び施設環境の改善・整備に努める事を基本方針とした。支援および介護の対応を図るために次の事業を実施した。

(1) 生活相談・支援

ア　入居者が相互に思いやりある人間関係の形成により、穏やかに安定した生活が送れる相談支援に努めた。

イ　入居者のニーズや特性を把握して各自に応じたクラブ、行事等への参加を促して張り合いある生活の維持に努めた。

(2) 健康管理

ア　ラジオ体操・棒体操のほか、園庭散歩・グラウンドゴルフ等のレクリエーション実施にて運動機会の保持増進に努めた。嘱託医との連携による定期健康診断にて疾病の早期発見・早期治療のほか、毎月の血圧、体重測定を実施し入居者の健康管理に努めた。

ウ　身体管理の励行及び衛生管理を援助した。新型コロナウイルス感染防止対策として入居者のマスク着用、手指消毒を実施のうえ、家族への面会制限を周知して入居者ならび職員の感染防止対策に努めた。

(3) 入居者の処遇

ア　入居者の身体状況、精神状況を把握し、ニーズに対応できる処遇計画を策定し職種間の共通理解の下に適切な支援を行った。

イ　介護保険サービス利用者に対しては職種間の連携体制を整え適切なサービスの提供に努めた。

ウ　嗜好と栄養面を考慮した献立によりバランスのとれた食事を提供した。さらに行事食を適宜実施して、食生活への季節感の取り組みに努めた。

エ　毎月の誕生会や季節の行事等の実施により活動的で質の高い生活を提供できるように努めた。新型コロナウイルス感染防止対策のため行事計画の一部変更を行う際に入居者の生きがい活動の向上に配慮した内容に努めた。

(4) 地域社会との交流

感染防止の観点から、地域・ボランティアとの交流を控え感染防止策に努めた。

(5) 職員の資質向上

職員の意識及び処遇技術の向上を図るため、各種研修会等に参加した。職場内研修を実施するほか事業団事例研究発表を行い職員の資質向上に努めた。

(6) 災害発生時の避難・救出訓練

定期的な消火設備の点検を行うと共に、毎月の避難訓練と年2回の総合防災訓練を実施して、災害発生時に円滑な対処ができるように備えた。

(7) 施設・環境整備

ア　居室内外の定期的な清掃の他、樹木の剪定や害虫駆除によって年間を通じて園庭の美化を図り、毎日の生活がおだやかな環境を維持できるように努めた。

イ　入居者の自発的な除草や清掃作業等によって、園内外の美化整備を行った。

２ 実施状況
令和２年
４月 １日 職員研修・避難訓練
４月 ２日 観桜会（園庭）、血圧・体重測定（毎月）、身長測定（年２回）
預金日（毎週木曜日）、出張販売（毎週木曜日）
４月 ６日 内科回診（毎週月曜日）、介護研修会（2ヶ月に１回開催）
４月 ７日 散髪、検便（調理）
４月 ９日 生花クラブ（毎月）、事業所会議・安全委員会・感染委員会
４月 10 日 県南ブロック施設長会議
４月 14 日 誕生会
４月 15 日 喫茶
４月 21 日 園内グランドゴルフ大会、課長会議（毎月）
４月 23 日 カラオケクラブ（毎月）
４月 28 日 利用者集会
４月 30 日 血圧・体重測定
５月 １日 利用者健康診断（1・8・12・13・15・19・20・22・26・27・29）
５月 ７日 散髪
５月 10 日 母の日（行事食）
５月 12 日 誕生会、事業所会議・安全委員会・感染委員会、検便（支援員・調理員）
５月 14 日 生花クラブ
５月 26 日 カラオケクラブ、夜勤従事職員健康診断
５月 28 日 避難訓練、利用者集会
６月 ２日 血圧・体重測定、散髪、利用者健康診断（6/3・6/5・6/9・6/10・6/11）
６月 ４日 誕生会
６月 ９日 事業所会議・安全委員会・感染委員会、検便（調理）
６月 11 日 生花クラブ、職員会議・研修
６月 17 日 選択食（うな丼・親子丼・牛丼）
６月 22 日 全館害虫駆除
６月 25 日 避難訓練、利用者集会
７月 ２日 血圧・体重測定、事業所会議・安全委員会・感染委員会
７月 ７日 誕生会、職員会議・研修
７月 ９日 生花クラブ、散髪、県社協研修（管理職員）
７月 10 日 県社協研修（初任者）
７月 14 日 カラオケクラブ、屋内外清掃、検便（支援員・調理員）
７月 16 日 望峰園夏祭り
７月 21 日 行事食、喫茶
７月 28 日 避難訓練、利用者集会
７月 29 日 介護研修会
８月 ３日 盆設え
８月 ４日 血圧体重測定、事業所会議・安全委員会・感染委員会
８月 ６日 誕生会
８月 ７日 七夕飾りつけ
８月 13 日 盆迎え火、行事食（盆精進料理 8/13～8/15）
８月 15 日 盆送り火
８月 25 日 カラオケクラブ
８月 27 日 避難訓練、利用者集会、マットレス洗浄

9月 1日 血圧・体重測定
9月 3日 総合避難訓練、消防設備点検、マットレス洗浄(9/3・9/10・9/24)
9月 8日 生花クラブ、事業所会議・安全委員会・感染委員会、検便(支援員・調理員)
9月 10日 令和2年度敬老会・誕生会
9月 15日 喫茶
9月 17日 散髪、カラオケクラブ
9月 24日 令和2年度望峰園健康運動会
9月 29日 利用者集会
10月 1日 血圧・体重・身長測定
10月 5日 利用者インフルエンザ予防接種(10/5・10/12・10/19)、介護研修会
10月 6日 生花クラブ、事業所会議・安全委員会・感染委員会、検便(調理)
10月 8日 誕生会
10月 13日 散髪
10月 14日 選択食(麺)
10月 16日 令和2年度都城市社会福祉功労者表彰式
10月 27日 カラオケクラブ
10月 29日 避難訓練、利用者集会
11月 5日 望峰園グランドゴルフ大会
11月 10日 血圧・体重測定、散髪、
事業所会議・安全委員会・感染委員会、検便(支援員・調理員)
11月 12日 誕生会、散髪
11月 17日 利用者健康診断(11/17・11/18・11/20・11/24)
11月 19日 屋内ゲーム大会、行事食
11月 24日 カラオケクラブ
11月 26日 避難訓練、利用者集会
12月 1日 血圧・体重測定
12月 3日 忘年会・誕生会(すき焼き)
12月 8日 散髪、生花クラブ、検便(調理)
12月 10日 大掃除
12月 14日 事業所会議・安全委員会・感染委員会
12月 17日 カラオケクラブ
12月 22日 避難訓練、利用者集会、もちつき
12月 24日 喫茶、冬物衣料品支給
令和3年
1月 1日 行事食(おせち料理 1/1～1/3)
1月 5日 血圧・体重測定、事業所会議・安全委員会・感染委員会
1月 6日 行事食(七草粥)
1月 7日 誕生会・新年会(山菜おこわ・煮付け)
1月 11日 行事食(成人の日)
1月 12日 生花クラブ、検便(支援員・調理員)
1月 14日 初詣(伊勢神宮動画視聴)
1月 21日 カラオケクラブ
1月 28日 避難訓練、利用者集会
2月 2日 血圧・体重測定、節分、事業所会議・安全委員会・感染委員会
2月 4日 誕生会(赤飯・ちゃんこ鍋)
2月 8日 介護研修会

2 月 9 日 生花クラブ、散髪(2/9・2/10)、検便(調理員)
2 月 16 日 喫茶(手作り菓子)
2 月 18 日 カラオケクラブ
2 月 25 日 避難訓練、利用者集会
3 月 2 日 血圧・体重測定、事業所会議・安全委員会・感染委員会
3 月 3 日 行事食
3 月 4 日 総合防災訓練、防火設備点検
3 月 9 日 誕生会、検便(支援員・調理員)
3 月 12 日 生花クラブ、散髪
3 月 16 日 納骨堂清掃
3 月 17 日 彼岸の設え
3 月18日 彼岸法要(西本願寺動画視聴)
3 月 23 日 カラオケラブ
3 月 25 日 観桜会(母智丘公園)
3 月 31 日 利用者集会

３．職員の状況

令和3年3月31日 現在

施設長	副施設長兼 主任生活相談員	相談員	事務員	看護職員	栄養士
1	1	1	1	2	1
調理員	主任支援員	サービス 提供責任者	支援員兼 訪問介護員	嘱託医	計
7(4)	1	1	15	1(1)	32(5)

（　　）は非常勤職員再掲

４．月別入所者入退所状況

区分／月	入所			退所			月末現在		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
4							9	40	49
5							9	40	49
6							9	40	49
7	1	1	2	1		1	9	41	50
8							9	41	50
9					1	1	9	40	49
10		1	1		1	1	9	40	49
11		1	1				9	41	50
12		1	1		2	2	9	40	49
1	1		1				10	40	50
2				1		1	9	40	49
3		2	2		1	1	9	41	50
合計	2	6	8	2	5	7			

退所後の状況（令和2年度）

退所後の状況	在　宅	0
	医療機関	0
	他の養護老人ホーム	0
	特別養護老人ホーム	4
	老人保健施設	0
	死　亡	2
	その他	1
合　　計		7

５．年齢階層別調

令和3年3月31日 現在

年齢 性別	64～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 以上	計	平均 年齢
男	1	3	2	1	2	0	0	9	78歳3月
女	1	2	5	10	9	8	6	41	86歳5月
計	2	5	7	11	11	8	6	50	85歳

６．在所期間

令和3年3月31日 現在

期　間	男	女	計
1年未満	2	6	8
1～5年	2	17	19
5～10年	3	10	13
10～20年	2	7	9
20年以上	0	1	1
合　計	9	41	50

７．要介護度の状況

令和3年3月31日 現在

要介護度	男	女	計
要介護　1		1	1
要介護　2	1	1	2
要介護　3		2	2
要介護　4	1	3	4
要介護　5		1	1
合　計	2	8	10

特別養護老人ホーム白寿園の概要

１．　事業概要

介護保険制度の目的は、施設の入居者、在宅の利用者の区別なく、全ての入居者に質の高いサービスを安定的に提供することであることを全職員が認識し、介護保険法に基づく「介護老人福祉施設」として介護サービスの向上に努めた。

入居者にとっては自宅に変わる生活の場であるため、生活空間を大切とした個室ユニットケアを推進し、毎日の生活が安心して、明るい気持ちで過ごせるよう、ケアプランに基づいた適切で真心のこもった介護を行うと共に、残存機能の維持を図ることに力を注いだ。

（１）　施設・環境の整備

ア　入居者が安全・安心して生活ができるように、園内外の環境美化、居室・共有スペース等の消毒、清掃に努めた。

（２）　生活指導

ア　日々の生活を充実させるため、昼の体操、音楽リハビリ、機能回復訓練を実施可能な状況下で励行し、入居者の心身機能の維持向上に努めた。

イ　新聞購読やテレビ鑑賞を楽しんでもらい、ニュースや社会に動き等の情報にふれ、社会性のある生活を送られるよう努めた。また昨年同様、園内の雰囲気を和やかにするため、有線放送による軽音楽等を流した。

（３）　健康管理

ア　入居者の高齢化、重度化のなか、常に一人ひとりの健康状態を注意し、嘱託医・看護師・管理栄養士・介護職員の連携を図りながら、疾病の早期発見、予防等健康保持に努めた。

イ　ノロウィルス・インフルエンザをはじめ新型コロナウイルスの感染症予防に全職員一致協力し取り組んだ。新型コロナウイルスの感染予防対策として、集団行事の中止や家族の面会制限等を行い集団感染予防対策に努めながら、各ユニットで個別レク、WEB 面会を行い入居者の身体面・精神面の低下予防に努めた。

（４）　入居者の介護

ア　入居者が自宅における生活と入居後生活が連続したものとなるよう家庭訪問等で再アセスメント、ケアプランを見直し、より快適な生活ができるように努めた。

イ　給食については、栄養マネジメントを実施し、常に栄養の確保に留意することは勿論、入居者の健康状態や好みに合わせて調理し、適温・適時に配膳し、行事食も適宜配慮して食生活の面から生きがいを高められるよう努めた。

ウ　歯科医師との連携をとりながら口腔ケアを実施し、口腔内の清潔・機能維持に努めた。

エ　入居者の自然な動きに合わせた“滑らせる介護”、入居者の安全な移乗を可能とした“抱えない介護”の提供により入居者に負担のない介護に努めた。

オ　その人に合った車椅子を提供することで快適な姿勢で過ごしていただけるように努めた。

（５）　地域社会との交流

ア　在宅で要介護状態の高齢者に対し、ショートステイ事業を行い、心身機能の維持並びに、介護者の身体的・精神的負担の軽減を図るよう努めた。

イ　在宅で心身の虚弱な高齢者に対し、配食サービスを行い在宅高齢者の生活援助に努めた。

（６）　職員の資質の向上

ア　新規採用者に対して新人研修プログラムに沿った指導を行う事で基礎知識の統一に努めた。

イ　職場における腰痛予防対策として福祉用具の利用を促進し、原則として、人が人を持ち上げないための代替策として、リフトの利用や、重心の水平面内での移乗を行うスライデングシートやトランスファボードを利用し、入居者、介護者双方にとって負担のない介護に努めた。

ウ　職場におけるメンタルヘルス対策として、ストレスチェックを実施し職員のスレスレの程度を把握し、職員自身のストレスへの気付きを促すとともに、働きやすい職場づくりを進め職員がメンタルヘルス不調とならないように努めた。

（７）　非常災害対策

ア　常に消火設備･避難設備等の点検整備に心がけ、有事に備え入居者の人命尊重を第一に、毎月避難訓練、年２回の消防署立合の総合防災訓練を実施し、防災意識の高揚と協力体制の確立に努めた。

（８）　地域における公益的な取り組み

ア　既存の制度や福祉サービスでは対応が困難で、緊急な対応が必要な生計困窮者に対して自立的な社会貢献活動の取り組みとして、生計困難者等の自立を援助するための相談支援活動に努めた。

（９）　感染予防対策

ア　新型コロナウイルス感染症対策として職員の健康観察を行うとともに検温の徹底、１ケアごとのアルコール手指消毒、短期入所者の出入り制限、県外在住者との接触、県外往来時には２週間の自宅待機、マスク着用の徹底等の対策を行い、感染症の持ち込み対策を実施した。

２．実施状況

令和２年度は新型コロナウイルスの影響により、活動の多くを制限せざるをえない状況となった。

（１）実施した行事

ア　月例　　誕生会　　（毎月　各ユニット）
理髪の日　　（実施可能な状況下の時）
避難訓練　　（毎月）
課長会議　　（毎月　第３火曜日）
経営会議　　（毎月　第４火曜日）
リーダー会　（毎月）
ユニットケア推進委員会（毎月）
（抱えない介護・水分・排泄・認知症・歩行・園芸・レク・散髪）
新規採用者職場内研修（3 日間）職員採用時
事故発生防止委員会感染症・食中毒委員会、身体拘束廃止委員会
褥瘡対策委員会、医療的ケア対策推進委員会、衛生委員会　（毎月随時）
インフエンザワクチン予防接種（11 月）
腰椎検査（3 月）夜勤者検診（7 月）

ユニット別誕生会、レクレーション、体操

令和２年

４月　３日　新人研修（5 日まで）

７日　職員検便（毎月：調理、隔月：直接処遇職員）

２１日　眠りスキャン研修（28 日も）

５月　９日　庄内地区意見交換会

庄内地区社協総会（文書）

７月１５日　焼肉会（各ユニット　16 日まで）

１２月２５日　餅つき（施設内）

令和３年

３月２５日　総合避難訓練

（２）新型コロナウイルス対策として計画したが実施できなかった行事

ア　月例　音楽リハ　（第 2・4 月曜日）

個別リハ　（毎週水曜日）

事業団介護相談員相談（毎月第 3 木曜日）

喫茶コーナー開設　（4 月～11 月）　毎月ボランティア協力 8 名程

イ　行事

令和２年

４月　花まつり

５月　焼肉会（各ユニット）

７月　ソーメン流し（各ユニット）

８月　ソーメン流し（各ユニット）

花火

９月　敬老祭

９月　サンマ焼き（各ユニット）

１０月　庄内地区スポレク大会

庄内地区介護者の集い

運動会

１１月　庄内ふるさと祭り

１２月　庄内川一周駅伝参加

そば打ち

忘年会

令和３年

１月　初詣（各ユニット）

ウ　研修

令和２年

５月　福祉の基礎知識習得

６月　排泄ケア

宮崎県衛生管理者等交流会

抱えない介護勉強会（年 4 回、講師専任作業療法士）

７月　レジオネラ属菌汚染防止対策講演会

キャリアパス中堅

７月　キャリアパス初任者

８月　みやざき安心セーフティーネット事業・相談員

ユニットケア～24H シート

キャリアパスチームリーダー

県南ブロック研修会

	抱えない介護勉強会（年４回、講師専任作業療法士）
９月	介護福祉士会九州大会
１０月	県南ブロックミニバレー大会
	腰痛・転倒災害防止
１１月	抱えない介護勉強会（年４回、講師専任作業療法士）
	キャリアアップ初級・中級
	県南ブロック相談員
	ビジネス文書
	県南ブロック特養会
１２月	抱えない介護勉強会（年４回、講師専任作業療法士）
令和３年	
１月	抱えない介護勉強会（年４回、講師専任作業療法士）
２月	宮崎県老人サービス研究大会（2 名）

エ　ボランティア

７月	願心寺婦人部ボランティア
	西区六月灯踊りボランティア
１０月	農業高校ボランティア（40 名）

オ　実習

５月	コア学園（職場体験）学生２名
７月	小林秀峰高校
８月	都城高校（3 年生　3 名）
	農業高校インターシップ
	都城高校（2 年生　2 名）
	コアカレッジ企業巡見
９月	小林秀峰高校（1 名）
１１月	都城高校（1 年生　2 名）
令和３年	
２月	都城コアカレッジ

３．　職員の状況

R3.3.31現在

施設長	副施設長	相談員・ケアマネ	事務職	支援課長	介護職	看護師	清掃・相談補助	栄養士	調理員	嘱託医	計
1	1	3	2	1	50 (8)	4	1	2	8 (3)	2 (2)	80 (20)

（　）は非常勤職員・嘱託契約数を再掲

４．　月別入居者入退状況

区分	入　　居			退　　居			月末現在			在所日数	
月	男	女	計	男	女	計	男	女	計	2年度	1年度
4	1		1	1	1	2	9	38	47	1414	1489
5	1	3	4		1	1	10	40	50	1521	1550
6			0			0	10	40	50	1500	1496
7		1	1	1		1	9	41	50	1543	1550
8			0		1	1	9	40	49	1536	1550
9		1	1			0	9	41	50	1497	1500
10			0			0	9	41	50	1550	1533
11			0			0	9	41	50	1500	1453
12			0	1		1	8	41	49	1541	1541
1		1	1			0	8	42	50	1546	1550
2		2	2		2	2	8	42	50	1390	1431
3		3	3	1	2	3	7	43	50	1546	1546
合計	2	11	13	4	7	11	105	490	595	18084	18189

５．在所期間

R3.3.31現在

期間	１年未満	１　～　５年	５　～　10年	10年以上	平均在所期間
男	0	2	2	3	101.8ヶ月
女	11	20	9	3	47.7ヵ月
計	11	22	11	6	55.0ヵ月

６．年齢階層別調

R3.3.31現在

	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	年齢
男		1	1	2	2	1	0	0	最小年齢　73歳9ヶ月
女		1	2	5	7	11	13	4	最大年齢　103歳0ヶ月
計	0	2	3	7	9	12	13	4	平均年齢　95.3歳

7．要介護状況

R3.3.31現在

期間	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均
男	0	1	1	1	4	4.1
女	0	0	4	25	14	4.2
計	0	1	5	26	18	4.2

8. 短期入所生活介護事業

利用者が要介護状態になった場合に、入浴・排泄・食事等の介護、その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の機能の維持並びに、利用者の家族の身体状況及び精神的負担の軽減を図るように努めた。

利用状況　　ユニット型短期入所

R2年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
実人員	17	9	7	14	9	5	16	15	11	5	5	5	30
延日数	222	212	176	162	183	127	179	179	176	155	94	103	1968
新規利用者	1	1	1	0	0	1	1	4	0	0	2	2	13

＊　参照

前年度	202	211	189	201	217	179	207	208	214	189	192	208	2417

利用状況　　短期入所生活介護庄内の里

R2年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
実人員	21	18	15	20	16	16	23	21	20	14	13	14	43
延日数	431	484	394	414	462	470	466	363	412	406	363	293	4958
新規利用者	3	4	2	1	2	1	1	2	2	0	0	4	22

＊　参照

前年度	440	469	480	488	531	431	499	438	462	492	443	415	5588

９．食の自立支援事業

食事の調理が困難な高齢者に対し、定期的に居宅を訪問して栄養バランスのとれた食事を提供することにより健康保持及び自立生活の援助を図りかつ安否確認を行い、在宅高齢者の福祉の増進をはかるように努めた。

利用状況

R2年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
実人数	10	12	11	9	10	11	14	12	12	9	9	11	130
配食数	170	172	183	168	151	180	227	199	173	150	155	192	2120

＊　参照

前年度	267	269	237	281	271	243	260	236	214	221	204	216	2919

10. みやざき安心セーフティネット事業

制度の狭間の生活困窮など様々な生活課題を抱える人々に対して社会福祉協議会、民生委員等と連携・協働しながら、自立に向けた支援に努めた。

利用状況

R2年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
実人数								1					1 名
相談支援件数								1					1 件

居宅介護支援業所　ケアプランサービスゆうの概況

事業の概要

ケアプランサービスゆうでは介護支援専門（ケアマネージャー）6名を配置し
在宅での介護支援サービス全過程において自立した質の高い生活が送れるように
介護サービス計画書（ケアプラン）を作成しました。
その中で要介護者が最も効率的に保健　医療　福祉のサービスを利用できるよう
他職種、医療機関とも連携を深めることに努めました。
また、ご家族の悩みを真摯に受け止め共有し安心した在宅生活を支援できるよう
サポート・助言を行いました。
コロナウイルス感染拡大に伴い、感染防止を行いながら相談や計画作成、利用調
整を要介護者やその家族、各事業所と連携をとり、適切なサービスを利用できる
ように支援を行いました。
介護支援専門員は要援護高齢者が、その人らしく住み慣れた地域で生きがいを
持って生活できるよう専門職としての知識と技術を身につけるよう努めました。

主たる業務内容

(1)　在宅介護にかかわる総合的な相談窓口

- 主として自宅へ訪問し相談・助言・指導に努めました。
- 各種サービス事業者、　民生委員　ならびに地域の方からの情報提供を得られるよう努めました。
- 地域の社会資源を発掘・活用し地域との連携を図れるよう配慮しました。
- 包括支援センターと連携を取り困難事例などの受け入れもできる体制を整えました。
- 感染症や災害が発生した場合でも介護サービスが継続的に提供されるように各事業所との連携に努めました。

(2)　指定居宅介護支援事業所として介護保険への取り組み

- 在宅でできる限りその人らしい生活が送れるように、サービスの紹介や自立に向けたケアプランの作成・介護保険認定申請代行など円滑に行えるよう努めました。
- 医療機関・サービス事業所との連携を密にし自宅での自立をめざし支援を行いました。
- 利用者本人だけでなく家族の負担軽減も図れるよう信頼関係構築に努めました。

(3)　主任介護支援専門員を配置し介護支援専門員の知識向上に努め、特定事業所加算の取得を行いました。

- 個別研修計画に沿った研修会への参加
- 週1回程度の事業所内研修の実施
- 24時間連絡体制を整備
- 包括支援センターとの連携、包括からの困難ケースの受け入れ
- 減算のないよう日常業務を実施
- 他法人との合同研修会の実施

令和2年度　ケアプランサービスゆう　実績報告

対象月	新規	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	給付数
4月	7	15	55	49	24	16	7	166
5月	6	13	52	50	25	15	6	161
6月	5	12	53	51	25	15	5	161
7月	7	12	58	48	28	15	6	167
8月	3	12	58	50	23	14	7	164
9月	12	11	56	55	27	17	11	177
10月	12	10	60	52	31	20	10	183
11月	9	11	57	51	32	18	10	179
12月	7	13	61	46	35	20	9	184
1月	5	13	59	40	40	23	10	185
2月	5	12	56	43	42	20	11	184
3月	4	10	63	43	42	16	11	185
合計	82	144	688	578	374	209	103	2096

令和　2年度　居宅介護支援事業所　ケアプランサービスゆう　相談一覧

年月日　担当	A	B	C	D	E	F	小計	
							介護計画	新規受け入れ
令和　2年4月	27+【予防5】	27+【予防1】	3+【予防0】	29+【予防4】	27+【予防2】	37+【予防3】	151【15】	7
5月	26+【予防4】	25+【予防1】	11+【予防0】	27+【予防3】	24+【予防2】	34+【予防3】	148【13】	6
.6月	26+【予防3】	25+【予防1】	13+【予防0】	28+【予防4】	26+【予防1】	32+【予防3】	149【12】	5
7月	26+【予防3】	26+【予防1】	16+【予防0】	29+【予防4】	26+【予防1】	34+【予防3】	155【12】	7
8月	27+【予防3】	26+【予防1】	17+【予防0】	28+【予防4】	24+【予防1】	32+【予防3】	152【12】	3
9月	26+【予防3】	28+【予防1】	18+【予防0】	31+【予防3】	24+【予防1】	34+【予防3】	166【11】	12
10月	26+【予防3】	30+【予防1】	22+【予防0】	33+【予防3】	23+【予防0】	35+【予防3】	173【10】	12
11月	27+【予防3】	29+【予防1】	24+【予防0】	31+【予防3】	21+【予防1】	36+【予防3】	168【11】	9
12月	27+【予防3】	26+【予防1】	26+【予防0】	32+【予防3】	24+【予防3】	37+【予防3】	171【13】	7
令和　3年1月	26+【予防3】	26+【予防1】	26+【予防0】	31+【予防3】	24+【予防3】	37+【予防3】	172【13】	5
2月	26+【予防3】	29+【予防1】	27+【予防0】	32+【予防2】	24+【予防3】	36+【予防3】	172【12】	5
3月	29+【予防3】	29+【予防1】	25+【予防0】	31+【予防2】	23+【予防3】	36+【予防2】	175【11】	4

小規模多機能型居宅介護　創生館の概況

１、事業の概況

利用者の望む生活の把握に努め、通い・訪問・宿泊のサービスを組み合わせながら、住み慣れた自宅や地域での生活を継続できるようにサービス提供を実施した。

また、新型コロナウイルスの影響により地域行事への参加は十分な取り組みが出来なかったが、地域関係者や地域住民と連絡・連携をとりながら、地域との協力体制の構築やニーズ把握に努めた。

２、主たる取り組み内容

（１）施設・環境の整備

・利用者との信頼関係を構築し、家庭的な環境づくりに努めた。

（２）介護保険サービスへの取り組み

・利用者の心身の状況、希望及び置かれている環境や生活習慣を理解した上で、通い、訪問及び宿泊サービスを柔軟かつ即時的に組み合わせながら、安心して自宅や地域での生活が継続できるように努めた。

・利用者がこれまで培ってきた家族や地域との関係性を大事にしながら、一人一人の暮らしに合わせ、居宅サービス計画及び小規模多機能型居宅介護計画の作成に努めた。

（３）健康管理

・一人ひとりの健康状態を注意し、看護師・介護職員等との連携を図りながら、疾病の早期発見、予防等の健康保持に努めた。

・主治医との連携を基本としつつ、協力医療機関との連絡・連携を図りながら、緊急時の対応に努めた。

（４）地域社会との交流、関係づくり

・運営推進会議を年６回開催した。新型コロナウイルス拡大防止のため、文書での活動報告や意見交換を実施した。

・事業所で実施した自己評価に基づき、運営推進会議にて外部評価を実施した。

・庄内地区地域支援会議へ毎月１回参加し、地域の情報、課題の把握に努めた。

・地域集会での地域住民に向けて、小規模多機能居宅介護の周知啓発を目的とした研修会を実施した。

（５）感染症・非常災害対策

・常に消火設備・避難設備等の点検整備を心がけ、年２回の避難訓練を実

施し、防災意識を高めることと、協力体制の確立に努めた。

・感染症マニュアルに基づき、日常的に基本的な感染症予防の徹底を図り
全職員致して感染症予防に取り組んだが、令和 3 年 1 月に新型コロナウイルスの感染者が職員 1 名、利用者 2 名発生した。
その際には行政及び医療機関も連絡調整を密にし、感染拡大防止に取り組んだ。感染症対策を平時より徹底することで、感染症再発防止に努めた。

令和2年度 年間計画実施状況

小規模多機能型居宅介護創生館

	主要事業	地域連携事業	会議等
4	○新規相談対応、ケアマネジメント ○郊外レクレーション（花見） ○誕生会		課長会議（第３火曜日）
5	○新規相談対応、ケアマネジメント ○郊外レクレーション ○誕生会	第１回運営推進会議開催	職員会議（第２木曜日） 課長会議（第３火曜日）
6	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会		職員会議（第２木曜日） 課長会議（第３火曜日）
7	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会	庄内地区地域支援会議参加（７月７日）	職員会議（第２木曜日） 課長会議（第３火曜日）
8	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会		職員会議（第２木曜日） 課長会議（第３火曜日）
9	○新規相談対応、ケアマネジメント ○避難訓練（９月２５日） ○誕生会、敬老会	○庄内地区地域支援会議参加（９月８日） ○創生館周知啓発パネル・動画展示（市図書館にて）	職員会議（第２木曜日） 課長会議（第３火曜日）
10	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会	○庄内地区地域支援会議参加（１０月６日）	職員会議（第２木曜日） 課長会議（第３火曜日）
11	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会	志和池地区援助員研修参加(11月26日)	職員会議（第２木曜日） 課長会議（第３火曜日）
12	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会 ○餅つき(12月20日)	○第２回運営推進会議開催 ○庄内地区生活圏域会議参加（１２月７日）	職員会議（第２木曜日） 課長会議（第３火曜日）
1	○新規相談対応、ケアマネジメント	第３回運営推進会議開催	職員会議（第２木曜日） 課長会議（第３火曜日）

2	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会	第４回運営推進会議開催	職員会議（第２木曜日） 課長会議（第３火曜日）
3	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会 ○避難訓練（3月22日）	第5回・６回運営推進会議開催	職員会議（第２木曜日） 課長会議（第３火曜日）
備考	新型コロナウイルス発生に伴い感染拡大防止のため事業一時休止（令和3年1月13日～27日）	施設見学、説明随時実施	※外部研修は新型コロナウイルス感染防止のため参加なし

令和2年度　小規模多機能型居宅介護　創生館　実績報告（サービス別）

対象月	新規登録者数	通い【延べ人数】	泊まり【延べ人数】	訪問【延べ人数】	合計【延べ人数】
4月	5	75	23	4	102
5月	4	188	75	9	272
6月	1	212	81	38	331
7月	3	239	72	51	362
8月	0	237	91	71	399
9月	0	240	90	121	451
10月	0	235	82	117	434
11月	2	249	85	144	478
12月	2	266	102	145	513
1月	0	87	40	29	156
2月	0	199	79	132	410
3月	4	231	86	188	505
合計	21	2458	906	1049	4413

西岳デイサービスセンターの概要

1　事業概要

在宅の要支援・要介護高齢者に入浴及び給食等の各種サービスを提供し、要介護状態等になった場合においても、その利用者が可能な限り、その居宅においてその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行う事により、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持、ならびに利用者家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることに留意して、事業を実施した。

（1）入浴

高齢者に適した温度等に留意し快適な入浴が楽しめるよう配慮を心がけた。認知症にて入浴や洗髪に拒否のある方へはタイミングや内容を考慮しながら声かけを行い気持ち良く入浴していただき清潔保持に努めた。

（2）機能訓練･レクリエーション

利用者の心身の特性に応じ日常動作訓練、レクリエーション等　を実施し、楽しみながら身体機能の維持向上できるよう実施した。内容については、密にならないよう配慮した全体レクリェーションのほか、個別で実施できる個別運動カードを看護師にて作成し自主的に機能訓練を行えるようスタッフ間で協議し、提供した。

（3）送迎

乗車前に検温を実施し、体調不良の早期発見に努めた。利用者の心身状態や、車内が密にならないよう車内の座る位置を配慮し、利用者間の会話がスムーズにいくよう努めた。また、怪我がないよう細やかな声かけを行い安全な乗降に努めた。

（4）　給食

利用者に適した材料と季節の旬の食材を献立に取り入れて適切な形態の昼食を提供した。厨房内外の衛生管理に注意を払い、食中毒の予防に万全を期した。利用者の嗜好、アレルギーや心身状態の変化にて食事内容や形態へ変更要望には、栄養士と連携し利用者の状況に対応した。新型コロナウイルス感染予防対策としてバイキング方式は中止し、個別のお膳にて提供した。

2　健康管理

デイ到着時に再度測定を実施した。バイタル異常や気分不良、疾患を確認し次第、ご家族やケアマネージャーに連絡し対応を行った。必要に応じて水分補給を行い、夏季は経口補水液の提供も行い、熱中症や脱水症予防に努めた。新型コロナウイルス感染症予防対策として乗車前検温と健康観察を行い、施設内設備の消毒および、手指消毒を徹底し、衛生管理に努めた。

3　地域との交流

新型コロナウイルス感染予防対策のため、地域の方々との交流は中止した。近隣の保育園、小中学校、地区公民館等の関係機関と情報交換を行う事により関係性を維持した。

4　職員の資質向上

職員に対して介護保険の動向ならびに個別援助計画作成の周知を図った。西岳ディの方針を明確に提示し働く意義や意識を統一し、組織人としての連携を図る事で最良のケアを提供出来るよう努めた。

5　具体的実施状況・利用実績

別紙参照

令和2年度　年間行事実施状況

西岳デイサービスセンター

<table>
<tr><td rowspan="2">月例行事</td><td rowspan="2">1　誕生会
2　職員会議（行事、レク内容協議、意見交換）
4　各種ゲーム
5　個別援助計画作成
6　利用予定カレンダー作成</td><td>毎　日</td><td>個別カードによる個別運動
口腔嚥下体操
ラジオ体操・各種体操</td></tr>
<tr><td>年　間</td><td>避難訓練（6 月 10 月）
嗜好調査（3 月）</td></tr>
<tr><td>随　時</td><td colspan="3">自然災害・利用者異変時の対応（全スタッフ）</td></tr>
<tr><td>4月</td><td colspan="3">新年度挨拶・茶話会・創作活動・日替わりレク（ゲーム）</td></tr>
<tr><td>5月</td><td colspan="3">地域探訪・日替わりレク（脳トレ・ゲーム）・地域探訪</td></tr>
<tr><td>6月</td><td colspan="3">日替わりレク（歌・リズム）・創作活動・地域探訪</td></tr>
<tr><td>7月</td><td colspan="3">日替わりレク（歌・リズム）・七夕飾り作成・地域探訪・創作活動・七夕祭り</td></tr>
<tr><td>8月</td><td colspan="3">日替わりレク（歌・リズム・脳トレ）・夏祭り（かき氷）・創作活動</td></tr>
<tr><td>9月</td><td colspan="3">敬老会・スカットボール・日替わりレク（歌・ゲーム・脳トレ）</td></tr>
<tr><td>10月</td><td colspan="3">運動会・日替わりレク（ゲーム・リズム）・茶話会</td></tr>
<tr><td>11月</td><td colspan="3">スカットボール・日替わりレク（歌・リズム）・地域探訪（紅葉）・創作活動（クリスマス）</td></tr>
<tr><td>12月</td><td colspan="3">創作活動（クリスマス）・クリスマス会・忘年会・日替わりレク（ゲーム・一年の振り返り）</td></tr>
<tr><td>1月</td><td colspan="3">スカットボール・書初め・日替わりレク（歌・リズム）</td></tr>
<tr><td>2月</td><td colspan="3">豆まき・日替わりレク（歌・リズム・脳トレ）・脳トレ</td></tr>
<tr><td>3月</td><td colspan="3">雛祭り・スカットボール・体操レク・1 年の振り返り</td></tr>
</table>

庄内デイサービスセンターの概要

1　事業概要

在宅の要支援・要介護高齢者に、入浴及び給食等の各種サービスを提供し、要介護状態等になった場合においても、その利用者が可能な限り、その居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行う事により、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持、ならびに利用者家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることに留意して、事業を実施した。

(1)入浴

高齢者に適した湯温管理、在宅生活が維持向上できるよう利用者の心身の状況に応じて、必要な介助を行い身体の清潔保持に心がけた。

(2)機能訓練・レクリエーション

利用者の心身の特性に応じて日常動作訓練、レクリエーション等　を実施し、楽しみながら身体機能の維持向上ができるよう実施した。内容については、全体レクリェーションのほか、個別で実施できる個別運動カードを作成し、自主的に機能訓練を行えるようスタッフ間で協議し、提供した。

(3)送迎

迎え時に検温を実施し、体調不良の早期発見に努めた。乗車前に発熱が認められる場合には利用を見合わせる判断をした。車内が密にならないよう座席の位置に配慮した。安全運転を心がけ、声かけを行い利用者の安全な乗降に努めた。

(4)給食

利用者に適した材料と季節の旬の食材を献立に取り入れ、適切な形態の昼食を提供した。厨房内外の衛生管理に注意を払い、食中毒の予防に万全を期した。また、コロナウイルス予防対策として密にならないよう利用者の座席の配慮を行い、アクリルパネルを使用し食事中の飛沫感染を防いだ。

2　健康管理

デイ到着後に再度測定を実施し、バイタル異常や気分不良等の訴えを確認し次第、家族やケアマネージャーに報告を行い対応を行った。県外在住者と接触のあった方の利用は2週間見合わせる判断をした。熱発や体調不良を訴え休まれた方は状況が解消した場合であっても引き続き、ご家族、ケアマネージャーと連絡を取り健康状態に留意した。新型コロナウィルス感染拡大防止のため送迎車や事業所内の接触頻度が高い場所(手すり、机など)の消毒を定時に行い、事業所内の換気、利用者様同士が密にならないよう、集団での活動は避け、アクリルパネルを活用することにより飛沫感染を防いだ。

3　地域との交流

今年度はコロナウィルス感染拡大防止のため地域との交流は中止した。近隣の幼稚園や中学校など、関係機関との情報交換を行う事により関係性を維持した。

4　職員の資質向上

一人ひとりに合った個別ケアを提供し、自宅での生活を継続できるように生活リハビリも含めた支援を行えるように取り組み職員の技術向上を図った。また毎月の職員会議や就業前後のミーティングで情報交換ができる場を設け周知にも努めた。

5　具体的実施状況・利用実績

別紙参照

令和２年度　年間行事実施状況

庄内デイサービスセンター

<table>
<tr><td rowspan="2">月例行事</td><td rowspan="2">1　誕生会
2　職員会議　　職員研修
3　個別援助計画作成
4　屋内外清掃
5　利用予定カレンダー作成
6　スカットボール大会</td><td>毎　　日</td><td>個別カードによる個人予防運動
通所介護計画実行記録
口腔嚥下体操
ケース会議</td></tr>
<tr><td>年　　間</td><td>避難訓練（5 月、9月、3 月）
嗜好調査、行事意向聴取</td></tr>
<tr><td>随　　時</td><td colspan="3">身体測定　（身長、体重）</td></tr>
<tr><td>4月</td><td colspan="3">日替わりレク（脳トレ、ゲーム）・創作活動・郊外レク（桜・ツツジ花見）</td></tr>
<tr><td>5 月</td><td colspan="3">日替わりレク（脳トレ・ゲーム）・創作レク</td></tr>
<tr><td>6月</td><td colspan="3">日替わりレク（脳トレ、ゲーム）・創作活動（七夕）・郊外レク（アジサイ）</td></tr>
<tr><td>7月</td><td colspan="3">日替わり（脳トレ、ゲーム）、創作活動（七夕）、ミニ運動会、夏祭り</td></tr>
<tr><td>8月</td><td colspan="3">日替わりレク（脳トレ、ゲーム）・創作活動</td></tr>
<tr><td>9月</td><td colspan="3">日替わりレク（脳トレ、ゲーム）・創作活動・・敬老祭・調理レク・スカットボール大会</td></tr>
<tr><td>10月</td><td colspan="3">日替わりレク（脳トレ、ゲーム）・創作活動・ミニ運動会・郊外レク（生駒高原他）・ミニ運動会</td></tr>
<tr><td>11月</td><td colspan="3">日替わりレク（脳トレ、ゲーム）・創作レク・調理レク・郊外レク（紅葉）</td></tr>
<tr><td>12月</td><td colspan="3">日替わりレク（脳トレ、ゲーム）・創作活動・忘年会・寄せ植え、こけない体操、ビンゴ大会
クリスマスケーキ作り</td></tr>
<tr><td>1月</td><td colspan="3">日替わりレク（脳トレ、ゲーム）、絵馬作り、初詣・趣味活動（書初め）・新年会・日替わりレク</td></tr>
<tr><td>2月</td><td colspan="3">日替わりレク（脳トレ、ゲーム）・創作活動・調理レク・節分</td></tr>
<tr><td>3月</td><td colspan="3">日替わりレク（脳トレ、ゲーム）・雛飾り・創作活動・郊外レク（桜花見）、喫茶コーナー</td></tr>
</table>

横市デイサービスセンターの概要

1　事業概要

在宅の要支援・要介護高齢者に、入浴及び給食等の各種サービスを提供し、要介護状態等になった場合においても、その利用者が可能な限り、その居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行う事により、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持、ならびに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることに留意して、事業を実施した。

(1) 入浴

高齢者に適した湯温管理、浴室内での事故防止に留意し、在宅生活が維持向上できるよう利用者に声かけを行い、洗身、衣類着脱、整容等の入浴動作全般について自律支援を目標に支援が必要の方において、できるだけ可能な範囲で入浴全般の一連の動作に必要な介助を行った。

(2) 機能訓練およびレクリェーション

利用者の特性に応じて体調管理を行い、融和を図りながら日常生活動作訓練、身体、脳を使うレクリェーション等を提供し、身体機能の維持向上を目標となるよう工夫した。内容については、密にならない範囲での団体でのレクリェーションのほか、個別に取り組める筋力維持及び低下予防につながる運動内容を提供し、自己選択自己決定できる環境を作った。なお、プログラム内容は 3 ヶ月おきに見直しを行った。

(3) 送迎

送迎時にはコロナウイルス感染予防対策として利用者の状態観察を行い、37.2℃以上発熱のある方、県外在住者との接触のある方の利用は 2 週間見合わせるなどの対策を取った。車内が密にならないよう座席位置に配慮し、安全運転に努めた。

(4) 給食

楽しい雰囲気と落ち着いた環境を提供して、利用者に適した材料と季節の旬の食材を献立に取り入れ、個人の体質に合わせた条件を基に、それぞれの要望に応える昼食を提供した。厨房内外の衛生管理に注意を払い、食中毒の予防に万全を期した。また、コロナウイルス予防対策として密にならないよう利用者の座席の配慮を行い、アクリルパネルを使用し飛沫感染を防いだ。

2　健康管理

コロナウイルス感染予防対策として利用者の状態観察を行うとともに検温、一動作ごとのアルコール手指消毒を行い、到着後は体調安定を確認後、血圧、脈拍、体温測定を実施した。一年を通じ、水分補給用の麦茶と経口補水液を提供し、脱水症及び熱中症予防に努めた。利用中急変時、気分不良や体調悪化がみられ次第、看護師と協議をし、ご家族、ケアマネージャーに報告の上、医療機関への搬送等、迅速かつ適切な判断をした。

3　地域との交流

コロナウイルス感染予防対策のため、地域の方々との交流は中止し、近隣の学校・幼稚園関係者との情報交換を行うことにより関係性を維持した。

4　職員の資質向上

職員会議時に、翌月の行事内容の検討、個別に対応するための適切なケアが提供できるかを職員間で情報を共有しながら意見交換を行った。

5　具体的実施状況・利用実績

別紙参照

令和2年度　年間行事実施状況

横市デイサービスセンター

<table>
<tr><td rowspan="2">月例行事</td><td rowspan="2">1　誕生会
2　職員会議　　職員研修
3　個別援助計画作成
4　屋内外清掃
5　季節の壁画作成
6　利用予定カレンダー作成</td><td>毎　　日</td><td>下肢筋力低下予防運動
通所介護計画実行記録
口腔嚥下体操
個別運動プログラム</td></tr>
<tr><td>年　　間</td><td>避難訓練（9月、3月）
嗜好調査（2月）</td></tr>
<tr><td>随時</td><td colspan="3">個別運動プログラム　体重測定　ボランティア受け入れ　新型コロナウイルス感染予防対策</td></tr>
<tr><td>4月</td><td colspan="3">花見（桜）・季節の壁画作成（さくら）・ゲーム（魚釣り）・地域探訪（あやめ、こいのぼり見学）</td></tr>
<tr><td>5 月</td><td colspan="3">ダンベル体操・季節の壁画作成（こいのぼり）・スカットボール・タオルゲーム</td></tr>
<tr><td>6月</td><td colspan="3">こけない体操（ダンベル）・季節の壁画作成（あじさい）・8020運動・ゲーム（輪ゴム送り）</td></tr>
<tr><td>7月</td><td colspan="3">七夕飾り作成・園芸（芝ぼうや作り）・シーツバレー季節の壁画作成（花火）</td></tr>
<tr><td>8月</td><td colspan="3">季節の壁画作成（ひまわり）・ヨーヨー作り（水風船）・夏祭り</td></tr>
<tr><td>9月</td><td colspan="3">スカットボール・棒体操・季節の壁画作成（十五夜）・脳リハ</td></tr>
<tr><td>10月</td><td colspan="3">脳リハ・ゲーム（日替わり）・季節の壁画作成（コスモス）・創作活動（キーホルダー）</td></tr>
<tr><td>11月</td><td colspan="3">陶芸教室・季節の壁画作成（いちょう、もみじ）・選択レク・脳リハ</td></tr>
<tr><td>12月</td><td colspan="3">クリスマスリース作成・しめ縄作成・忘年会・演芸</td></tr>
<tr><td>1月</td><td colspan="3">新年会（茶話会）・スカットボール・福笑い・ダンベル体操</td></tr>
<tr><td>2月</td><td colspan="3">ゲーム(鬼は外)・創作活動（カレンダー土台作り）・雛飾り作成</td></tr>
<tr><td>3月</td><td colspan="3">タオル体操・創作活動（桜の木）・頭の体操・ゲーム（日替わり）</td></tr>
</table>

令和2年度　事業別利用人員実績一覧

西岳デイサービスセンター

事業区分	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
介護保険通所事業	月間利用延人員	192	99	163	159	143	157	170	182	157	123	130	171	1,846	185
	1日平均利用人員	8.7	9.0	7.4	6.9	6.8	7.1	7.7	8.7	7.9	6.2	6.8	7.4		7.6
介護予防総合事業	月間利用延人員	61	43	55	60	47	53	56	49	58	44	58	56	640	64
	1日平均利用人員	2.8	3.9	2.5	2.6	2.2	2.4	2.5	2.3	2.9	2.2	3.1	2.4		2.6
元気アップ総合事業	月間利用延人員	25	14	27	30	16	18	20	25	16	14	14	19	238	24
	1日平均利用人員	1.1	1.3	1.2	1.3	0.8	0.8	0.9	1.2	0.8	0.7	0.7	0.8		1.0
合計	開所日数	22	11	22	23	21	22	22	21	20	20	19	23	246	21
	職員体制	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6		6
	1日平均利用人員	12.6	14.2	11.1	10.8	9.8	10.4	11.2	12.2	11.6	9.1	10.6	10.7		11.3
	月間利用者総数	278	156	245	249	206	228	246	256	231	181	202	246	2,724	227
	前年度月間利用者総数	303	345	307	337	292	302	291	271	261	257	248	312	3,526	294

庄内デイサービスセンター

事業区分	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
介護保険通所事業	月間利用延人員	285	233	237	284	211	211	263	248	252	143	220	267	2,854	285
	1日平均利用人員	13.0	11.1	10.8	12.3	10.0	9.6	12.0	11.8	12.6	11.0	11.0	11.6		11.4
介護予防総合事業	月間利用延人員	92	83	89	78	65	38	70	67	61	24	47	67	781	78
	1日平均利用人員	4.2	4.0	4.0	3.4	3.1	1.7	3.2	3.2	3.1	1.8	2.4	2.9		3.2
元気アップ総合事業	月間利用延人員	30	58	30	27	26	21	21	18	16	9	16	20	292	29
	1日平均利用人員	1.4	2.8	1.4	1.2	1.2	1.0	1.0	0.9	0.8	0.7	0.8	0.9		1.2
合計	開所日数	22	21	22	23	21	22	22	21	20	13	20	23	250	21
	職員体制	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8		8
	1日平均利用人員	18.5	17.8	16.2	16.9	14.4	12.3	16.1	15.9	16.5	13.5	14.2	15.4		15.8
	月間利用者総数	407	374	356	389	302	270	354	333	329	176	283	354	3,927	327
	前年度月間利用者総数	432	421	369	455	395	389	435	408	387	371	352	396	4,810	401

横市デイサービスセンター

事業区分	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
介護保険通所事業	月間利用延人員	196	165	216	242	232	250	253	235	215	186	210	253	2,653	265
	1日平均利用人員	8.9	7.9	9.8	10.5	11.0	11.4	11.5	11.2	10.8	9.3	10.5	11.0		10.3
介護予防総合事業通所事業	月間利用延人員	91	61	71	56	45	37	42	36	45	35	36	36	591	59
	1日平均利用人員	4.1	2.9	3.2	2.4	2.1	1.7	1.9	1.7	2.3	1.8	1.8	1.6		2.4
元気アップデイ事業	月間利用延人員	42	40	43	51	37	45	44	37	37	37	37	32	482	48
	1日平均利用人員	1.9	1.9	2.0	2.2	1.8	2.0	2.0	1.8	1.9	1.9	1.9	1.4		1.9
合計	開所日数	22	21	22	23	21	22	22	21	20	20	20	23	257	21
	職員体制	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7		7
	1日平均利用人員	15.0	12.7	15.0	15.2	15.0	15.1	15.4	14.7	14.9	12.9	14.2	14.0		14.6
	月間利用者総数	329	266	330	349	314	332	339	308	297	258	283	321	3,726	311
	前年度月間利用者総数	316	349	348	350	317	305	325	332	327	320	306	306	3,901	325

地域包括支援センターの概況

都城市志和池・庄内・西岳地区地域包括支援センター

１、運営方針

高齢者及びその家族が住みなれた自宅で安心しその人らしい生活が送れるように、医療と介護の連携、地域ケア会議の推進、生活支援サービスの充実及び向上を図り地域包括ケアシステムの構築と在宅生活の支援に努めた。

介護保険制度の理念に基づき地域包括ケアの中核として円滑な運営を図り、本人の意思及び人格を尊重して自立した生活ができるよう公共性および地域性ならびに協働性の視点に基づいた事業運営に取り組んだ。

２、事業の概要

（１）総合相談支援

各分野の専門職を配置し、4 職種を中心に地域における問題を総合的に受け止め、問題解決にむけ関係機関と連携を図り継続的かつ専門的な相談支援体制を構築し、地域の福祉相談の中核としての役割を果たせるよう努めた。

（２）権利擁護

後見制度に関する周知、消費者被害対応、虐待の防止など高齢者の権利擁の実践に努めた。関係機関とも連携することで、地域の集いへの参加等を通じ啓発活動を行い制度の周知啓発に努めた。

（３）包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対して包括的かつ継続的で適切なサービスが提供されるように、地域ケア会議の開催を通じて、地域団体ならびに専門機関と協働して、地域の多様な社会資源を活用した包括ケア体制の構築に努めた。困難なケースに対して職員間で相談しチーム対応を行った。地域の介護支援専門員からの相談に対し、助言や指導にて後方支援を行った。

（４）介護予防ケアマネジメント

効率的かつ効果的な介護予防が提供されるよう、適切なケアマネジメントを実施した。介護予防対象者の積極的な把握を行うと同時に、市が推進する地域での介護予防教室（こけないからだ作り講座）の普及・支援に努め、総合事業、予防給付が効率的かつ効果的に提供されるように適切にケアマネジメントを行った。

（５）認知症地域支援推進事業

認知症地域推進委員を中心に認知症高齢者の把握と支援体制の構築に努めた。

（６）自立支援型地域ケア会議モデル地域包括支援センター

都城市より指定を受け、介護保険課及び専門職能団体によるケアマネジメント支援や、先進地派遣研修、他地域包括支援センターへのケアマネジメント支援など、介護保険課と協力し行った。

＜包括＞令和2年度　実積報告

月	相談件数									ニーズ調査	予防プラン（委託：下段）	こけない体操教室	多職種連携会議
	総合相談	権利擁護	包括的・継続的ケアマネジメント	介護保険申請	福祉サービス	保健医療	介護予防	個別事例会議	計				
4月	123	7	7	19	8	21	11	0	196	64	266 113	3	6
5月	141	10	10	15	9	28	4	0	217	0	270 114	0	2
6月	175	4	27	19	15	20	3	2	265	0	266 114	8	12
7月	172	10	26	19	27	14	7	0	275	0	278 114	17	15
8月	179	14	31	26	15	15	11	0	291	0	268 108	3	9
9月	176	11	14	26	13	29	4	0	273	0	262 108	1	15
10月	169	33	21	31	17	33	5	2	311	0	252 105	4	17
11月	139	12	26	23	17	29	6	0	252	0	260 103	7	20
12月	143	20	21	18	17	16	10	0	245	0	260 100	7	14
1月	126	15	19	17	13	10	6	0	206	0	265 94	0	2
2月	170	12	13	25	23	15	11	1	270	0	247 96	2	10
3月	206	11	17	22	19	26	8	1	310	0	254 96	11	11
合計	1919	159	232	260	193	256	86	6	3111	64	3148 1265	63	133